

科目名	法制史	
担当者	長谷川 史明 / HASEGAWA, Fumiaki	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	西洋法制史を扱う。特に古代ローマ法の歴史的発展について説明する。
	到達目標	(1) 西洋法制史の概略に関する基礎的知識を習得する。 (2) 古代ローマ法の特質について、基本的な事項を理解する。
授業計画	(1) この講義の概要説明 (2) 法制史とはなにか (3) 西洋法のながれ① (古代～中世) (4) 西洋法のながれ② (中世～近代) (5) 西洋法のながれ③ (近代～現代) (6) 大陸法とコモン・ロー① (7) 大陸法とコモン・ロー② (8) 古代ローマ法① (古代ローマの法観念) (9) 古代ローマ法② (十二表法) (10) 古代ローマ法③ (法務官法) - (11) 古代ローマ法④ (市民法と万民法) (12) 古代ローマ法⑤ (法学者達の活動) (13) 古代ローマ法⑥ (ユースティニアヌスによる法典編纂事業) (14) 中世における《ローマ法の再発見》 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	※事前・事後学習としては、1回の講義につき、約4時間読書することを標準とします（目安としては、15回の講義期間内に、新書版の本を10冊程度読了する）。 詳細は講義時間に説明します。
使用教材・参考文献	【教】・【参】講義時間中に指示・紹介する。	
成績評価方法と基準	レポートによって評価する。レポートに講義の内容が的確に反映され表現されているかどうかを評価の基準とする。なお、講義の最後に「学習報告（この講義を通じて学んだこと）」を提出する。	
備考	世界史（西洋史）の基礎知識を必要とする。関連する専門科目としては、法思想史、法哲学、政治史、外国史概説などがある。	